



住北通信

第 21 号 発行日 R3.2.26
 発行者 校長 松下 佳司
 大東市立住道北小学校
 TEL 872-7788 FAX 872-7789

学校教育アンケート結果

保護者の皆様、学校教育アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。皆様からいただいたご意見（文章記述）も含め、アンケート結果については、全教職員で共有しており、その対応についての検討も進めてまいります。

紙面の都合上、まずは 20 の質問項目についての結果について、報告させていただきます。（9 番と 11 番の項目については、今年度新たに設けた質問で、数値については、A「そう思う」・B「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合を掲載しております。）

No	質問項目	R1	R2
1	学校は、学校だよりやホームページ等で教育方針や取り組みの様子をわかりやすく伝えている。	96%	97%
2	学校は、学習の内容や進度等を懇談や学年通信等によって適切に知らせている。	87%	94%
3	学校は、授業を中心とした学習指導により保護者が期待する学力を子どもたちに定着させている。	83%	87%
4	学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	93%	93%
5	学校は、学習面や生活面において、規律正しい態度を育てようとしている。	93%	97%
6	学校は、子どものことについて適切に相談に応じている。	88%	91%
7	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	82%	81%
8	学校は、発達段階に応じて子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	84%	86%
9	学校は、新型コロナウイルス感染症対策に対応した学校運営を進めている。（新設）	—	92%
10	学校は、子どもが安心して学べる学習環境づくりに努めている。	91%	94%
11	子どもに、「学校の新しい生活様式」を踏まえた学校生活が定着している。（新設）	—	88%
12	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	95%	91%
13	子どもは、学校での学習がわかりやすいと言っている。	80%	83%
14	子どもにしっかりと話を聞こうとする態度が育っている。	79%	82%
15	子どもに人の気持ちを大切に思いやりの心が育っている。	92%	92%
16	子どもは、遠足や運動会などの学校行事に楽しんで参加している。	97%	96%
17	子どもは、地震や台風などの非常時の対応の仕方について知っている。	89%	85%
18	家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣づくりに心がけている。	87%	91%
19	家庭では、進んであいさつをしたり、言葉づかいに気をつけたりするように話している。	90%	90%
20	家庭では、社会のルールや学校のきまりを守るように話している。	96%	97%

令和3年度 新2年生の学級編制について

現在、1年生は2学級で編制しておりますが、年度途中に、児童1名の転出があり、通常学級に在籍する児童数が35名となりました。転入生を待ち望んでおりましたが、今のところ、次年度の**新2年生は、1学級編制**となる見通しです。

次年度から5年かけて、学級編制の標準を**35人**に引き下げるという国からの発表もありましたが、**大阪府**ではすでに独自施策として、2年生も1年生と同様に35人学級編制とされていきました。仮に、春季休業期間中に転入があり、学級数が2学級に上がるようなことになれば、再度、入学時に実施させていただいた転居予定等調査を行う段取りもしておりますので、何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

チャレンジ住北っこ

興味関心や可能性を引き出すきっかけとして、様々なコンクールやコンテスト等にチャレンジする住北っこ。家庭や地域での取り組み、その頑張りや成果を紹介します。子どもたちの可能性を引き出すチャンスは、いたるところにあります。

2020年度 はがきでコミュニケーション全国発表大会

中学年の部 Cブロック優秀賞 3年1組 七森 亮介 さん

児童集会講話

児童集会をはじめ、給食感謝週間の取り組みなど、2月に入ってから、コミュニケーションツールである Teams を使い、各教室へと情報を発信する試みを進めております。2月1日(月)の児童集会が今年度最後となってしまったわけですが、子どもたちには、新型コロナウイルスに負けず、我慢するところは我慢し、あたり前のことをあたり前に頑張っていることに感心し、その強さをとても頼もしく思っていると伝えました。

そして、新型コロナウイルスの流行は、いつまで続くのだろうかと考えると、つい下を向いてしまいそうになりますが、そのような時は、この詩を思い出してほしいと、宮澤章二さんの「今日もいい日」という詩を紹介しました。

今日もいい日

「今日もいい日なんだ」と思う
「いい日なんだから元気を出そう」と思う
そう思うだけで 自然に元気が出る

不思議でもなんでもなし 日常の真実
人間はここらによって呼吸する 存在
目には見えないところに支えられて
どんな苦しみをも克服できる 生きもの

だから 私たちは身体を鍛えるように
みずから力でこころを鍛えつづけ
心身共にたくましく育つ必要がある

今日もいい日なんだと思うから
元気が出て 努力して 今日が充実する
そして 充実の喜びを与えてくれる今日が
「明日もいい日…」の希望を生むのだ

わたしたち教職員は、子どもたちの頑張っているところ、良いところを見つけては、褒め、「今日もいい日だ」と、逆に、**元気**をもらっている毎日です。

良い姿勢で、先生や友だちのお話を最後まで大切に聞く姿、一人で深く考えて、問題を解いたり、その説明を書いたりしている姿、ろう下や階段を落ち着いて移動している姿、授業中や休憩中に友だちと仲良く教え合ったり、仲良く遊んだりしている姿、黙々と掃除に打ち込んでいる姿、自分からあいさつをしたり、靴やスリッパを揃えたりと、人や物を大切にしている姿など、それらを目にすると「**住北っこは素敵や**」、「**今日もいい日だ**」と、心の中は、晴れやかになります。

新型コロナウイルスへの対策は、引き続き、気を緩めてはいけませんが、今こそ、心を強く鍛えるチャンスととらえ、最後まで、子どもの**素敵探し**に努めます。

保護者の皆様におかれましても、引き続き、感染症対策へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。日々、ありがとうございます。